

※阿部紀次獣医師が来年4月に THMS 復帰が決まりました！

先月、学生実習の引率教官として1週間程別海に滞在し、その間 THMS の臨床部門の状況や顧客酪農家の10年間の変化を実感しながら、私たちと話し合いこの様な結論に至りました。

平成8年1月～平成23年7月までの15年間 THMS で弊社の臨床部門の基礎を作り、その後同年9月から NOSAI 長崎の杵岐で臨床獣医師として7年間勤務し、2018年4月からは酪農学園大学で臨床教授として学生の教育に携わってきました。



阿部先生も私と同様に還暦を過ぎる齢になり、残りの獣医師人生をと考え、THMS と顧客のみなさんに対し、自分の持っているもの全てを投げ打って奉職すると言ってくれています。

赴任するまでしばらく時間がありますが今から待ち遠しいかぎりです。

THMS の獣医師の年齢は若く臨床経験が足りない分、阿部先生の力を借りてレベルアップを図り皆様に貢献したいと考えています。

※OPU 牛舎の建設工事が始まりました。

農地取得の関係で今年4月2日に設立(登記)しました、別会社の農業生産法人(株)トータルハードマネジメントサービスジェネティック(相変わらず長いカタカナの会社ですが…)の OPU 施設を付帯した OPU ドナー預託牛舎の建設工事が始まりました。

規模および仕様は OPU ドナーが 60 頭飼養可能なフリーバーン牛舎になります。

まだ完成前の段階ですが、既に預託のオフアが根室管内はもちろんですが、宗谷、釧路管内の酪農家や黒毛和牛の繁殖農場からあります。

右の写真は見にくいですが、何となく基礎工事直前という状況はわかっていただけではないかと思えます。



来年の6月に竣工予定です。

.....  
・THMS の経営陣が刷新されて早4ヶ月目に入りました。あっという間に時間だけが過ぎていっていますが、今回のM情報で体制や従業員(獣医師)の教育環境の変革に少しずつ取り組んでいること(その片鱗)をお伝えすることができたと思っています。

THMS は黒崎前会長の創業以来、常に地元の顧客(畜産農家)のみなさんと共に歩む技術者集団であり続けることができる会社を目指しています。